

1 単元名 『明治トンネルをほった人々のねがい』(11時間扱い/本時は第10時)

2 本時の授業

(1) 目標

失火により通行不能になってしまった明治トンネルを見たときの結社の人たちの気持ちを考えることを通して、明治トンネルを作った先人の苦労や地域の人々の願いをより深く理解することができる。

(社会的な思考)

(2) 構想

子どもたちが興味を持ち、地域の人たちから情報を得ながら追究できるよう、学区内にある明治トンネルを題材として取り上げた。まず第1時では、明治トンネル絵図に色を塗る作業を通して、気がつくことや疑問(ハテナ?)を持たせた。子どもたちは、古い時代にトンネルがあったことに驚き「ぜひ行って見てみたい」という気持ちが高まったので、第2・3時に明治トンネルの見学に出かけることにした。見学では、明治トンネルと旧東海道を実際に歩いて道の違いを比べた。トンネルではわずか数分の距離も、旧道では20分もかかり「トンネルはすごく楽だった」という感想を持った。第4時では、明治トンネルを歩いて疑問に思ったことをもとに学習問題を作った。この学習問題を追究するために第5時では、様々な資料をもとに調べ学習をおこなった。第6時では、トンネルを掘るときに苦労を追体験するために、人々の気持ちを吹き出しを書き込んだり、工事の人・結社の人・村の人々などの役割を決めてロールプレーをして、開鑿工事をした人々の苦労を想像した。第7時でも同様の手法を用いて、トンネルができたときの人々の喜びについて思いを深めた。また、トンネルには人の他にどんな物が通ったのかを考えた。子どもたちは、静岡からは工業製品、岡部・藤枝からは農作物が運ばれたのではないかという推測をした。第8時では、このトンネルの通行料金が6厘(60円)であることを知らせ、この通行料金の是非について考えさせた。高すぎる ちょうどよい 双方から意見が出されたが、道の修繕や安全のためにもお金が使われていることに気がついた。第9時では、明治23年に通行する人や荷物の量が急に減っていることをグラフから読み取り、この年に東海道本線が開通したことを教えた。鉄道ができたことでトンネル交通量・収入ともに激減したことを押さえた。

本時(第10時)は、明治29年に失火により通行不能になってしまった明治トンネルを見たときの結社の人々の気持ちについて思いを深める場面である。これまで児童は、トンネルを掘った苦労や喜びについて学んできてた。当初は多くの交通量がありトンネル事業は潤ったが、鉄道(東海道線)の開通により交通量は激減。トンネルの補修にかかる費用の捻出もままなくなり、トンネル事業を続ければ続けるほど赤字になるというジレンマに陥ってしまう。またそのころ、失火によりトンネルは通行不能になってしまった。そこでトンネルを掘った結社の人々は、再度明治トンネルを掘り直してトンネル事業を続けるかどうかの選択に迫られる。また、志太郡の議会からは、物流の交通路として早期のトンネル開通を要望されている。児童には当時の人々の立場に立たせて、時代の変化と共に重要になるトンネルではあるが、トンネル事業を続けるほど赤字になってしまう、という問題について再度掘るべきか 掘らざるべきか を考えさせたい。

第11時では、本時の学習をもとに静岡県に宛てた請願書を書かせる。次時にはゲストティーチャーを招き、この請願書を読んでいただいたり、明治トンネルの果たした役割について詳しい話を聞いたりして、より理解を深めたい。

前時の終末に学習問題を提示する。学習問題を受けて、自分はどう考えるのか立場を明らかにさせる。考えをまとめたところで教師が見取りをおこない、似た考え同士の者で意図的にグループ編成をおこなう。一斉学習では、それぞれのグループの考えが際立つように「一斉学習ではこの部分を強調しよう」などと声かけをしたい。

考えることが難しい児童に対しては、トンネル事業を続けた場合のメリットとデメリットがわかるような一覧表を用意し、問題になっている点を明確にする。また自分の考えはだれと近いのか、考えの近い子を見取りの際に明示し「さんと相談してみよう」などと声かけしたい。

(3) 展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ	留意点
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">失火によって通行不能になってしまった明治第一トンネルを見たとき、結社人たちはもう一度トンネルを掘り直そうとしただろうか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">同じ考えの人同士（４人程度）で相談をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごと意見の確認をする。 ・どのような順番でどんな内容を話すか討論の作戦を立てる。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ さんの考えは、説得力があるから、この意見を言おう </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えたいことを一つに絞り、わかりやすい資料を使おう </div> </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">全員で討論しよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>掘るべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 便利な世の中になる。山越えよりもトンネルの方が楽。 ・ 車が通れる。たくさんの荷物を運ぶことができる。 ・ 世のため人のためになる。 ・ 失業して困っている人がいる。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>掘らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤字が大きくなる。自分たちが貧乏になるだけ。 ・ 危険な仕事なので、また事故が起こり犠牲者が出る。 ・ 旧東海道の拡幅をすればよいのではないか。 ・ 鉄道の開通で通行量が激減している。通る人もいない </div> </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">お互いの考えを認め合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>新しい時代になるためのトンネルの必要性はわかるよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>山を越えてものを運ぶよりは、トンネルを使った方が楽だな</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>赤字になってしまったら生活していくのは苦しいよね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>話を聞いて、トンネルは世の中のためになると思った。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>これから車が増えるだろうから、やはりトンネルは必要かも</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>東海道を拡幅する方法もなかなかいい考えだと思った。</p> </div> </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">歴史的事実について教師が解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結社人は、自分たちでお金を出して再度トンネルを掘らなかった ・ しかし志太の人々、静岡の人々はトンネルを必要とした。 ・ 志太郡の議員たちが静岡県にお願いし、県の事業として再度掘った <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">明治時代になり、新しい世の中は、やはりトンネルを必要としていたんだな。</p> <p>次時は、本時の学習をもとに県への請願書を書き、明治トンネルについて研究してきたゲストティチャーに見てもらうことを予告する。</p>	<p>前時で自分の考えを作り、相手を説得するための資料を作成して本時に臨む。</p> <p>評価 明治トンネルを作った先人の苦勞や地域の人々の願いをより深く理解することができたか。 (思考)</p> <p>似た考え同士の者で小グループを編成する。 資料を用意し、問題点を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通量の推移表 ・ トンネルの収支表 ・ トンネル開通のメリットとデメリットの一覧表 ・ トンネルで運ばれた物 <p>自作の資料を使って説明させたい。 自作の資料、小グループの話し合いで子どもを見取る。</p> <p>討論の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 少数派が発言する。 (2) 多数派が発言する。 (3) 自由発言(質問・意見) (4) 意見の変更 <p>明治時代になり、これまで以上に物流が盛んになってきていることがわかる資料を提示し、さらに深く考えさせたい。</p> <p>県への請願書を書く活動を通して、本時の思考や理解度について評価する。</p> <p>GT：池谷圭次氏 岡部町教育委員会</p>